

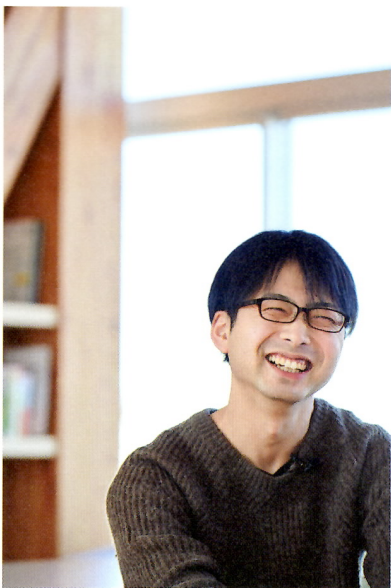
社員が交流する場は、多摩産材のフローリングを使用。



生活環境という視点で、 働く環境をつくった。

代表取締役 興津秀憲 様

社員は1日の1/3くらいを会社で過ごします。それだけ多くの時間を過ごす場所を、居心地のいい環境にしなければいけない。経営者として、そう考えました。会社は、重要な生活環境です。生産性だけを考えた環境に、ずっと居たいと思うでしょうか。もちろんビジネスなので生産性を求めなければいけません。でも、過ごしやすい環境にしたほうが仕事はしやすい。そのほうが結果として業務の効率アップにつながる可能性がある。実際、少しずつですが結果にあらわれはじめています。人間は動物です。機械ではありません。生産性だけを考えて働くのであれば機械と同じになってしまいます。人間らしく豊かに働くために、建物を自然に近づけることができるのは、木です。この本社ビルが完成して初めて中に入ったときは、木の床材があまりに気持ちよさそうだったので、私は思わず裸足になってしまいました。今も執務室にいる時は裸足でいます。本社ビルが完成した時は、社員も喜んでくれました。ある社員の話ですが、娘さんが「お母さんが行っている会社で働きたい」と言ってくれたそうです。それを聞いたとき、私はほんとうにうれしかった。私は、私に関わる人を笑顔にしたいと思っています。お客さま、社員、その家族、一人ひとりが笑顔になってほしい。そのために木化を選んだと言っても過言ではありません。街に木のビルが増えていくと、働く環境も、都市の環境も、もっともっと豊かになっていくのではないのでしょうか。



このビルに引っ越してくる前のオフィスは、あたたかみのない、いわゆる一般的なオフィス環境でした。完成した本社ビルに初めて入った時は、想像以上に木が使われているのに驚きました。木のいい香りがしたことも憶えています。これまでは仕事が終わって会社を出るときに、仕事場にこもっていた状態から解放される…まるで缶詰から出るような気分になったのですが、今のオフィスはそんな気分になりません。木が豊富に使われていて、大きな窓があって開放的だからだと思います。太陽の光が木に当たることでやさしい空気感をつくっていますし、常にリラックスした状態で仕事ができているのだと思います。オフィスが柱で遮られていない大空間になっているので、社員同士のコミュニケーションも増えました。環境は大事だと思います。

働く気分も、 コミュニケーションも 変わった。

社員 石山剛大 様



都市部で、木のビルが作れる時代になった。

フレーザーライフ社の本社ビルの特長は、木と鉄骨造のハイブリッドです。
1階～3階は外装を木質化。
4階～7階は鉄骨を木で覆う「木質ハイブリッド集成材」を構造体に採用しています。
柔らかな木の質感と鉄の強さを併せ持ちながら、木が熱から鉄を守る耐火被覆材として機能するので、木化ビルの普及に貢献できます。
鉄骨造ビルの必要な場所だけに「木質ハイブリッド集成材」を使うことで、コストを抑えた汎用性の高い、普及型・木質ハイブリッドビルの建設が可能になります。



ビルを木化する、スタンダードモデルとして。

フレーザーライフ社の本社ビルは居心地を追求するだけでなく、ビルを木化するスタンダードモデルになることを目指してつくられています。
「木質ハイブリッド集成材」などの新しい技術を導入し、コストを抑え、施工を合理化した「普及型」にすることで、都市の木化を推進していけるのではないかと。そんな施主・興津様の想いが込められています。
多摩産の杉を使った外装ルーバーに塗った高耐候性塗料は、劣化を防ぎながら木質を美しく魅せる新しい塗料です。それは後に、建設が進められている競技施設の木材部分の塗料に採用されました。
都市に木のぬくもりを感じられるビルが建ち並び、そんな風景が当たり前になる日を目指して、住友林業は、木の使い方に関する知識と経験、新たな活用方法の提案を行います。



DATA

建築地：東京都国分寺市
構造・階層：鉄骨造7F建
(4～7階 木質ハイブリッド造)
延床面積：605.70㎡
設計・監理：スタジオ・クハラ・ヤギ
team Timberize
施工：住友林業

木化、世界の新しいつくり方

施設やビルなどの建築、都市づくりの建築材料に、木という選択肢が加わりました。無機質な社会や人工的な空間を、人といういのちにとって、より良いものに変える。地下資源から、森で出番を待っている木というクリーンな地上資源に変える。住友林業は、企業、個人、国や自治体などの施主様と想いを同じにし、木化という、世界の新しいつくり方を広げていきます。

TAKE FREE [モッカ] 04 <http://sfc.jp/mocca/> E-mail mocca@sfc.co.jp

木が、働き方を改革した。





満足度も 生産性もアップした、 都市部の木化ビル。 株式会社フレーバーライフ社

東京都国分寺市。駅前通りを歩くとすぐ、木のビルがあらわれます。

施主様のフレーバーライフ社は、自然の生命と恵みを日々の暮らしに取り入れるアロマ製品を提供している会社です。

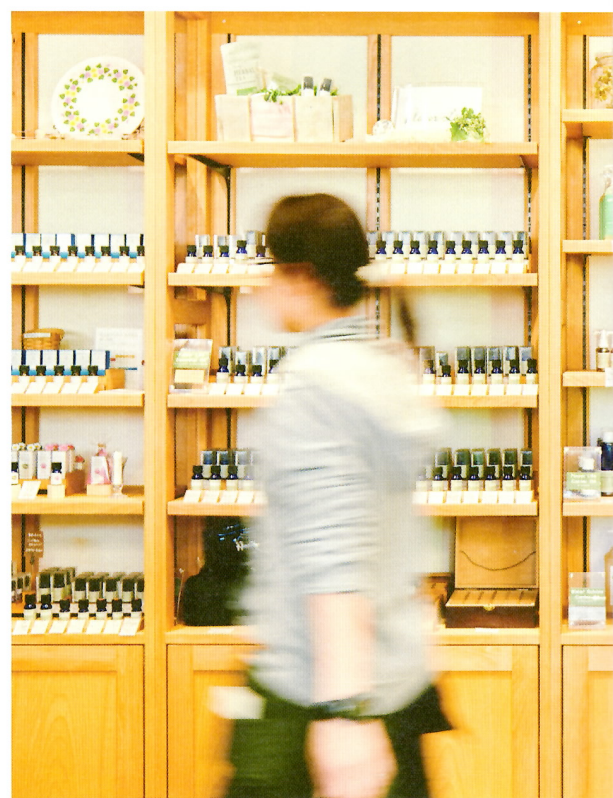
自然素材を原料とした商品を扱う会社だから、自然素材を使ったビルにしたい。

そして何より、社員にとって働きやすい居心地のいい環境をつくりたい。

その思いから、東京の都市部に建てるビルを木化しました。

1階はショップ、2階から7階まではオフィスとスクールを設計。

木化された空間の効果は、社員の満足感、業務の生産性などの面であらわれはじめています。



アロマ製品が並ぶショップのインテリアも木質化。